

体験型

地域で周産期の親子を支えるための  
体験型ワークショップ  
音楽と対話から学ぶ  
“安心して話せる場づくり”

2026  
2.23 MON  
10:00-12:00

妊娠期～乳幼児の親子が『ここなら本音を話せる』と感じる場づくりを、地域で支える支援者同士で体験しながら学ぶ2時間のワークショップです。音楽体験と少人数の対話ワークを通して、明日からの家族支援に活かせるかかわり方のヒントと一緒に考えます。

<プログラム>

10:00～10:10 オープニング

10:10～10:50 パート1：音楽体験

「音楽でこころをゆるめる・つながる」

音楽体験は、音楽による交流を目的としますので、楽器経験や音楽知識は必要ありません。お気軽にご参加ください。

10:50～11:30 パート2：探求型対話ワーク

「少人数で語り合う“安心できる場づくり”」

11:30～11:50 質疑応答

11:50～12:00 クロージング



長江 朱夏さん

Ongakuya共同代表、

音楽療法士

音楽療法を米・ニューヨークで学ぶ。即興音楽を用い、幼児から高齢者まで幅広い対象者と音楽活動を展開。臨床だけでなく、講演やワークショップ、音楽療法士の育成に取り組んでいる。

曾雌 竜太さん

株式会社EDUCAMP代表

「冒険が人を育てる」をコンセプトに、子どもたちが一歩を踏み出す冒険プログラムを実施している。チームビルディングやファシリテーションを学び、一人ひとりが社会の中で輝くための力を育んでいる。



対象：子育て中の家族の支援にかかわる方  
150名

助産師・看護師・保健師・医師・  
心理士・ソーシャルワーカー・  
相談支援員・子育て支援関係者等

会場：ワインクあいち 1001号室  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38



午前のみ参加費：2000円

1日参加（お弁当付き）：3500円

申し込み時に決済

申し込み：上記QRコードを読み込んで  
申し込みフォームからお願いします。



主催：エイトカラーズ合同会社

協賛：株式会社eWeLL

問合せ：seminars@eightcolors.co.jp

# 周産期 メンタルヘルス シンポジウム



## 周産期の家族の こころのケアと産後ケア

2026

2.23

(月・祝)

13:00-15:00

周産期メンタルヘルスにかかる現場のお話を伺いながら、これからの周産期の家族支援について考えましょう

座長：玉木 敦子 氏（神戸女子大学看護学部、日本周産期メンタルヘルス学会理事）

シンポジスト：

内田 恵 氏（名古屋市立大学病院こころの医療センター 精神科医）

酒井 玲子 氏（愛知医科大学病院 こころのケアセンター 臨床心理士・公認心理師）

岩本 美佐子 氏（天白助産所 助産師）

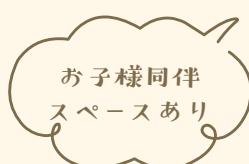
増田 綾 氏（エイトカラーズ訪問看護ステーション 助産師）

会場：ウインクあいち 1001号室  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

午後のみ参加費：2000円

1日参加（お弁当付き）：3500円

申し込み時に決済



対象

周産期の家族の支援にかかる方

150名

助産師・看護師・保健師・医師・

心理職・ソーシャルワーカー・

相談支援員・子育て支援関係者等

主催：エイトカラーズ合同会社

共催：愛知周産期地域医療連携協議会

協賛：株式会社eWeLL

周産期メンタルヘルス支援を考える1DAY  
午前ワークショップ(10:00-12:00)も  
ぜひご参加ください。  
1日参加の方にはお弁当を用意しています。



申し込み：上記QRコードを読み込んで  
申し込みフォームからお願ひします。

問合せ：seminars@eightcolors.co.jp